

年間第22主日 8月29日 分かち合い

今日の福音書は私たちに識別の重要な役割を示してくださいます。識別とは聖霊によって何かを選択することです。聖イグナチオの霊操によりますと、それは霊の識別です。神の呼びかけと、神でないものの呼びかけを見分けることは霊操のなかのキーワード的な言葉で、「霊的識別」と言います。霊の働きを私たちが識別する、ということです。皆さんがご存知通りと思いますが、私たちの中では、いつも良い霊と悪い霊は両方とも働いています。

これらの霊の動きによって、祈りの中でも、日常生活の中でも、慰めと荒み(すさみ)という感情が生み出されています。自分の慰めと荒みの状態を知ることが必要です。それで、この感情は神から来るのか、それとも神から離れさせるのかということを知りていくのです。そして何よりもそれらのことの中の何に基づいて行動すればよいかという問いをかけてみますと、それは原理と基礎だと聖イグナチオが私たちに教えてくださいます。

聖イグナチオによる原理と基礎とは、人間が造られたのは、主なる神を賛美し、敬い、使えるためであり、こうすることによって、自分の靈魂を救うためであるということです。この人間の目的は忘れてはいけないと思っております。すなわち、識別とは神の前で、原理と基礎に基づいて、識別を行われなければならないのです。

さて、識別の目的は神のみ旨、神の愛を探し求めるのであり、その神のみ旨に基づいて、聖イグナチオが教えてくれたように、神のより大いなる栄光のための働き方を見出すことができるのです。ファリサイ派の人々が伝統や昔の人の言い伝えを守って生きているのはその自体が悪いことではないかもしれませんが、彼らは昔の人の言い伝えを固く守り、重要なことを忘れてしまいました。重要なことは神との関係、神のみ旨に従うことです。この関係は心から出てきたものなのです。

ファリサイ派の人々は外面の行為を強調し過ぎて、内面の声を無視してしまいました。「この民は。。。」このみ言葉を黙想しながら今日一日また今週の一週間、それについて究明が出来ることになると思います。私たちの生活の中では、毎日毎日同じことが繰り返して、知らず知らず外面の活動だけが残っているかもしれません。それで、忙しくなって、なかなか幸せになることができないのです。幸せな人に成るため、答唱詩篇が語ったように、神をおそれ、主の道を歩む必要があります。

とにかく、私たちの目的は主なる神を賛美し、敬い、使えるのであり、こうすることによって、自分の靈魂を救うのです。すなわち、何よりも神の掟を守り、神のみ旨に従うのは最も大切なのです。この行為は心から行われなければならないなりません。心から神を愛し、隣人を愛するのは何よりも大切なのです。これは主イエスのお望みだと思っております。どうか聖霊の導きによって、私たちは日々生活の中で識別を通して、外面より内面の方を大切にすることができますように願い求めたいと思っております。